

事業所名

クオリティ・オブ・ライフ元吉田支援教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

8日

法人（事業所）理念		利用者様の「生活の質の向上」を目指すとともに利用者様に関わる周りの方の幸せの向上をモットーに一人一人に寄り添い合った支援が提供できるように日々努めています。障がいの有無に関わらず、全ての方が活躍できる「ノーマライゼーション社会の実現」という信念をもって、社会福祉サービスを提供しています。						
支援方針		20歳になった時の「生活の質」をどのように確保するかを目的とし、基本的な生活習慣に必要な自立訓練を行い、生活面のスキルを身につけるトレーニングを行っております。						
営業時間		平日	10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり
		土曜日	9時	0分	17時	0分		
支 援 内 容								
プログラム内容		個別プログラム…日常生活訓練、基礎学力向上支援、個別指導 集団プログラム…ダンス、手話、レクリエーション、調理実習、工作、就労体験						
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣の習得（食事での箸の使い方や食べ物への関心、トイレの使い方や手洗いのやり方など生活に必要な物の正しい使い方が出来るようになる。衣服の着脱や片付け、整容など自分の事を一人で出来る事を増やす。スケジュールに沿って自ら行動出来るようになる。） 身辺動作の自立（自分の物を片付け、管理出来るようになる。カリキュラムで経験したことが家や教室でお手伝いなどで出来るようになる。）						
	運動・感覚	体力向上、筋力向上、ボディイメージの形成（ダンスやボールなど物を使った運動を通じて発達を促し、様々な身体の使い方を体験する） 感覚の統合（工作や遊びを通じて皮膚の感覚、視覚や聴覚を刺激したり筋肉の使い方などを体験する）						
	認知・行動	生活に必要な概念の習得（個々の発達段階に応じて、読み、書き、計算、数量、大小、色等を習得していく。成功体験により自信をつけていく。） 良心（正しい・間違っている）・道徳心（社会のルールやマナーを守る）・価値基準（何が大事かを決める基準）を集団生活を通して知り、身に付けていく。 感覚の強化（遊びや活動を通して、視覚・聴覚・触覚の感覚を十分に活用できるようにする。 認知能力の向上（他児との関係を通じて場面に応じた適切な行動ができるようにする。）						
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションに必要な能力を習得、向上（毎日の支援を通し、言葉のツールを作り引き出していく。手話やジェスチャーを使い、コミュニケーションの幅を増やしていく。遊びやカリキュラムを通して、他児や支援員との関わりから人と関わる楽しさを知っていく。相手の話を聴く力、話す力を日常的に身に付けていく。）						
	人間関係 社会性	感情のコントロール（集団活動、小集団活動を体験し、安心して感情を言葉で表現する習慣を身に付けていく。自己理解を深め、様々な場面での対応力を学んでいく。） 社会性の向上（集団活動、小集団活動を通して協力や助け合いを体験する。ルールやマナーを守って生活できるようにする。）						
家族支援		・日々の様子を対面会話や指導記録を通して伝え、成長とともに喜んだり、心配な部分を確認しながら寄り添っていく。 ・保護者様の困りごとや悩みに寄り添い、一緒に利用者様のより良い生活が築けるようサポートしていく。			移行支援		・保護者様や本人の意向を踏まえ、関係機関との連携を取りながら本人の将来を見据えた促しをしていく。 ・日々の支援の中に将来を見据えた内容を取り入れて支援を行っております。	
地域支援・地域連携		・学校や福祉サービス等と担当者会議等を通して情報共有し、利用者様の理解を深めています。			職員の質の向上		・業務スキルや専門知識を向上させるため社内研修・外部研修を取り入れていく。また実際の業務を通じて学ぶ機会を提供し、実践的なスキルを磨いていく。働きやすい環境を整えていく。	
主な行事等		季節のイベント、発表会、野外フェス（2年に一回）						